

【授業科目】 公衆衛生看護活動論 I (公衆衛生看護技術) Public Health Nursing Activities I

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
大谷喜美江、後藤由紀、佐藤優子	2年次後期	選択	1	15	講義	あり	巻末掲載	可
授業概要 (内容と進め方) 及び課題に対するフィードバック方法	授業概要/地域特性及び対象(個人・家族・集団・組織・コミュニティ)の特性に応じたアセスメント方法、公衆衛生看護活動の基本的な展開方法および保健師の役割について講義・グループワークを通じて理解する。課題に対するフィードバック方法/提出された課題について、全体の総評コメントを資料にて公開する							
実務経験に関する授業内容	行政および産業分野での臨地経験を持つ教員が、公衆衛生看護活動に必要な技術について、講義および事例検討を含むグループワークによって教授する							
授業の位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー②「人間の健康を環境との関係において捉え、地域社会の生活者の視点から看護の役割を考え、実践することができる」の達成に寄与している。							
到達目標 (履修者が到達すべき目標)	①個人・家族・集団・組織・コミュニティを対象とした地域看護活動の基本的な方法と考え方がわかる。 ②地域の人々の生活と健康をアセスメントする基本的な方法を習得できる。 ③地域の人々への基本的な健康支援の方法を説明できる。 ④地域で働く看護職の役割について、考察し表現できる。							
時間外学習に必要な内容・時間	第1～8回事前・事後学習：指定の教科書を事前に読み、まとめておく。(各30分) 第6回事前学習：事例についてアセスメントし、家庭訪問計画を考える。(60分) ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間(2単位15回科目の場合：予習+復習4時間/1回)(1単位15回科目の場合：予習+復習1時間/1回)(1単位8回科目の場合：予習+復習4時間/1回)を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。							
授業計画	第1回 公衆衛生看護における対象の理解 地域看護活動の理論・方法論を用いた実践例 第2回 保健指導技術としての対人支援の在り方と面接技術 第3回 地域における健康診査・健康教育と保健師の役割 第4回 地域における健康相談・家庭訪問と保健師の役割/演習ガイダンス 第5回 地域における保健師活動の実際 第6回 地域で生活する人々への家庭訪問(演習) 第7回 地域組織活動における保健師の役割 第8回 地域ケアシステムの構築とネットワーク化における保健師の役割(60分) まとめ(30分)					大谷 佐藤 後藤 大谷 大谷 大谷、後藤、佐藤 大谷 大谷/全員		
評価方法 評価基準	試験(70%)、演習・授業課題(20%)、受講態度(10%)で総合的に評価する。							
教科書	標準保健師講座2「公衆衛生看護技術(第3版)」 医学書院		参考書等		保健師業務要覧 日本看護協会出版会 健康行動理論の基礎 医歯薬出版 健康行動理論による研究と実践 医学書院 健康行動と健康教育 医学書院			
学生への 助言等	地域はあらゆる人々の生活の場で、地域住民の個別の健康課題と地域に共通した健康課題があります。学生自身が生活している地域の特徴や健康課題について考え、地域看護活動やそれにかかわる技術を主体的に学んでください。 地域で働く看護職の役割についての考えをまとめ、表現できるように積極的に講義や演習に取り組んでください。図書館の参考資料を							